

インフラに重点

2013年度 予算案

二〇一三年度の政府予算案は、安倍政権の積極的な財政出動方針を受け、防災対策など「国土強靱化」関連のインフラ整備への重点配分が目立った。大津市の中学校でいじめ事件のあった滋賀ではいじめ対策事業費、長野ではライチョウ保護の調査費用の配分を歓迎するなど、地域からの要望も反映された。

名古屋港防波堤 8メートルに

名古屋

安倍政権は、南海トラフ巨大地震が想定される地域を対象に、港湾の防波堤の津波対策で三十六億円を確保。

名古屋港の鍋田ふ頭から北浜ふ頭に至る外港地区の高潮防波堤を今年より最大三メートルかさ上げし、八メートル(名古屋港基準面)にする事業に予算を計上する。高潮防波堤は一九五九年の伊勢湾台風を受け、可能性が指摘され、高潮対策として六年内閣府の想定では南海トラフ巨大地震が発生した際、名古屋港の津波高は最大五メートル、二〇一四年度中の完成を目指す。

波性能評価委員会」で高潮防波堤の対策が求められていた。工事はすでに本年度内の着工が決まっております。



高潮防波堤に高さ上げされる名古屋港防波堤＝愛知県知多市で

静岡

東日本大震災発生時、東北地方で盛り土構造の道路に近隣住民らが避難して津波から逃れたことから、国土交通省は高台道路への避難階段設置事業に約

に避難階段

の階段を取り付け、低地の集落の住民らが避難できるようにする。東日本大震災の被災地では、高台を走る国道の盛り土構造が津波やがれきの流入を抑える効果が実証された。国土交通省の担当者は国道が堤防の機能を果たした